

フードバンクふじのくにの

現状と課題

静岡県中部未来懇話会研究委員

日誌 一幸・静岡大人文学部教授



日誌 一幸氏

現在、全国で大小30を超えるフードバンクが活動しているが、「フードバンクふじのくに」もその1つである。フードバンク設立後7カ月経過したが、その現状を報告させていただく。

▽日本でフードバンクが設立された背景

「静岡市を活動拠点とする」フードバンクふじのくに（理事長・日誌一幸氏）が活動を開始した。フードバンクは、印字ミスや外箱の包装破損等により市場で流通できなくなった食品や家庭で余った保存食品等を企業や個人から寄贈を受け、それらを生活困窮者などに提供する活動である。

日本の食料自給率はカロリーベースでみた場合、40%を切っているが、それにもかかわらず食べられるのに処分される食料（食品ロス）は年間約800万トンにもぼると言われている。この量は日本の米の年間生産量に相当する。しかし、その一方で毎日の食事に事欠く人々が増

えているという実態がある。そこで、この双方の課題を解消すべく、処分せざるを得ない食料を預かり、それらが必要としている人に届けるという取り組みが必要になる。このような課題解決の手段としてフードバンクが誕生した。



フードバンクふじのくにの事務所。1階はフードバンク、2階はNPO法人POPOLOが入る。静岡市葵区宮ヶ崎町

欧米でのフードバンクの取り組みは日本よりも早く、アメリカの場合1960年代後半より始められた。現在アメリカでは200を超えるフードバンクが各地で活動を展開しており、Feeding Americaという全米を網羅するネットワークも存在している。日本では、2000年からセカンドハーベストジャパンという団体が活動を始めたが、その後、フードバンクの活動が全国にも広がっている。

▽「フードバンクふじのくに」の概要

「フードバンクふじのくに」は、「フードバンクを地域の仕組みとして定着させ、食を通じて人の縁を結び、お互いが助け合う、困った時はお互い様な社会づくりを目指す」ことを目的に、静岡県内の社団法人、公益財団法人、さらには生協、NPO法人、生活困窮者支援団体、連合など、様々な分野で活動を展開している15の団体が連携し

て設立された。2014年5月19日に設立総会を行い、翌20日より活動を開始した。現在、事務所を静岡市内に置いて活動を展開している。

「フードバンクふじのくに」では、企業や市民から食料の寄贈を受けるのであるが、今のところ賞味期限が1カ月以上残っていて、常温保存できる食料（米、パスタ、缶詰、インスタント食品、レトルト食品、お菓子、飲料など）に限定している。そして、寄贈された食料は、原則として個人ではなく、生活困窮者支援を行っている福祉団体を中心に提供を行っている。個人から食料の提供要請があった場合には、連携団体の一つであるNPO法人POPOLO（ポポロ）へ食料を提供し、ポポロを通じて個人への支援が行われる。

▽「フードバンクふじのくに」の活動実態

「フードバンクふじのくに」

設立の報道は、新聞やテレビを通じてなされたこともあり、設立後1カ月を過ぎたころより次第に県内企業や県民の関心を引き、寄贈される食料も増えていった。



2014年12月中旬の段階で、総入庫量は10・8ト、依頼に基づく出荷量は9・2トとなっている。在庫量は1・6トほどである。活動を開始してからの依頼件数は230件余であ

り、月平均30件以上の支援依頼に対応している。現在のところ、活動の拠点が静岡市内にあることから、中部地域での支援要請が全体の75%を占めている。

▽「フードバンクしずおか」と企業などの支援

「フードバンクしずおか」の活動が開始されてから、企業からの支援も増加している。例えば、商品の印字ミスなどにより処分せざるを得なくなった食品の提供、企業の災害備蓄品の



更新に伴う食料の提供などがある。また、2014年9月末からは「生活協同組合ユーコープ」より、パッケージの破損や余剰となった常温食品の提供を毎週受けることになった。

また、11月には、静鉄ストアの支援により静岡・富士両市の8店舗で11日間、フードドライブ（家庭で余剰となった食料を持ち寄り、寄付する活動）を実施していただき、360キロの食料を寄贈していただいた。さらに、12月には静岡県缶詰協会加盟4社（SKフーズ、はごろもフーズ、ホテイフーズ、いなば食品）と同意書を締結し、今後、定期的に食品の提供を受けることになった。

このように、フードバンクの運営を行っていくためには食品関連をはじめとする県内企業や県民の支援が不可欠であると考えられる。同時に、それらの支援がどのように生活困窮者支援に活用されているのか、その成果を明らかにしていくことも「フードバンクふじのくに」には求められている。

問い合わせは「フードバンクふじのくに」〈電054(248)6177〉へ。